

パンの話 1 フランスのパン屋に「食パン」は...売っていない！



今回は**パン**についてお話ししたいと思います。

日本において「パン」と言えば、「食パン」のことが思い浮かびますね。

その「パン」という言葉ですが、**フランス語の「pain」**から来ているのではないのでしょうか。しかし「食パン」自体の由来はフランスではなく、英語圏の国々であるような気がします。

何故かといいますと、フランスのパン屋に行くと「食パン」は売っていないからです。おもしろいことに、フランスで「食パン」が食べたいときは、スーパーに買いに行くしかありません。

何故日本人が「食パン」のことを英語の「ブレッド」(bread)ではなく、フランス語で「パン」と呼ぶのか分かりません。

中身だけのパン！？

そういえば、「食パン」のことをフランス語でなんというかご存知ですか。

「pain de mie」(パン・ドウ・ミー)ですよね。「mie」というのは「パンの中身」のことです。

つまり、パリパリする、フランス人にとって美しい外側の「croûte」(クルート)に対して、「**中身だけのパン**」だということです！

さて次回は、パンを巡るフランス語のおもしろい表現について、書かせていただきます。

執筆 Matthieu

上記の日本語はMatthieu先生が書いたものに一部修正を加えたものです。
日本語が堪能なMatthieu先生は、レッスンでも日本語可能です。ぜひ一度お試しください。(スタッフ)

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。
いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

